

第58回全国植樹祭でレコサールを展示 ～硫黄を使った環境に優しい高性能の材料～

当社(社長:西尾 進路)は、製油所の副産物である硫黄を有効利用する技術として開発した新材料レコサール※1が、6月24日に北海道苫小牧市で開かれる第58回全国植樹祭(主催:社団法人 国土緑化推進機構、北海道)におきまして、北海道リサイクルブランド認定製品※2として展示されますので、お知らせ致します。

全国植樹祭は、国土緑化運動の中核をなす行事として、天皇皇后両陛下のご臨席の下、全国各地にて1950年から毎年開催されています。両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的としています。

今年の第58回全国植樹祭は、「明日へ 未来へ 北の大地の森づくり」をテーマに北海道苫小牧市で開催され、その会場内で北海道リサイクルブランド認定製品としてレコサールが展示されます。レコサールは、室蘭製油所ほかの副産物である硫黄を利用し、北海道内で開発された技術を用いている点および強度、耐酸性など優れた特性が認められ、本年3月に北海道リサイクルブランドとして認定されています。現在、レコサールは下水道施設、河川の大型水路、温泉施設など幅広い分野で建築・土木資材として用いられています。

来場者数が1万人を超える規模である全国植樹祭において、当社は地域の産業副産物・廃棄物を活用した環境に優しい高性能リサイクル材料であるレコサールを出展し広くPRを行うことで、新規産業の創出・地域の発展に広く貢献できるよう努めてまいります。

※1 レコサールとは、石油精製の副産物である純硫黄に添加剤や石炭灰、スラグ、珪砂やホタテ貝殻などの廃棄物を加えて強度や耐酸性を改善したもので、これらの構成材料を約140℃で練り上げ、常温まで冷却し硬化させたものです。この高効率製造システムは、(財)石油産業活性化センター事業として開発したものです。

※2 北海道リサイクルブランド認定制度とは、これまでに北海道が認定したすべての「北海道リサイクル製品」のうち優れた特性を有した北海道らしいリサイクル製品を道が認定したものです。



第58回全国植樹祭に出展されるホタテ貝殻を使用したレコサール



河川の大型水路での使用例